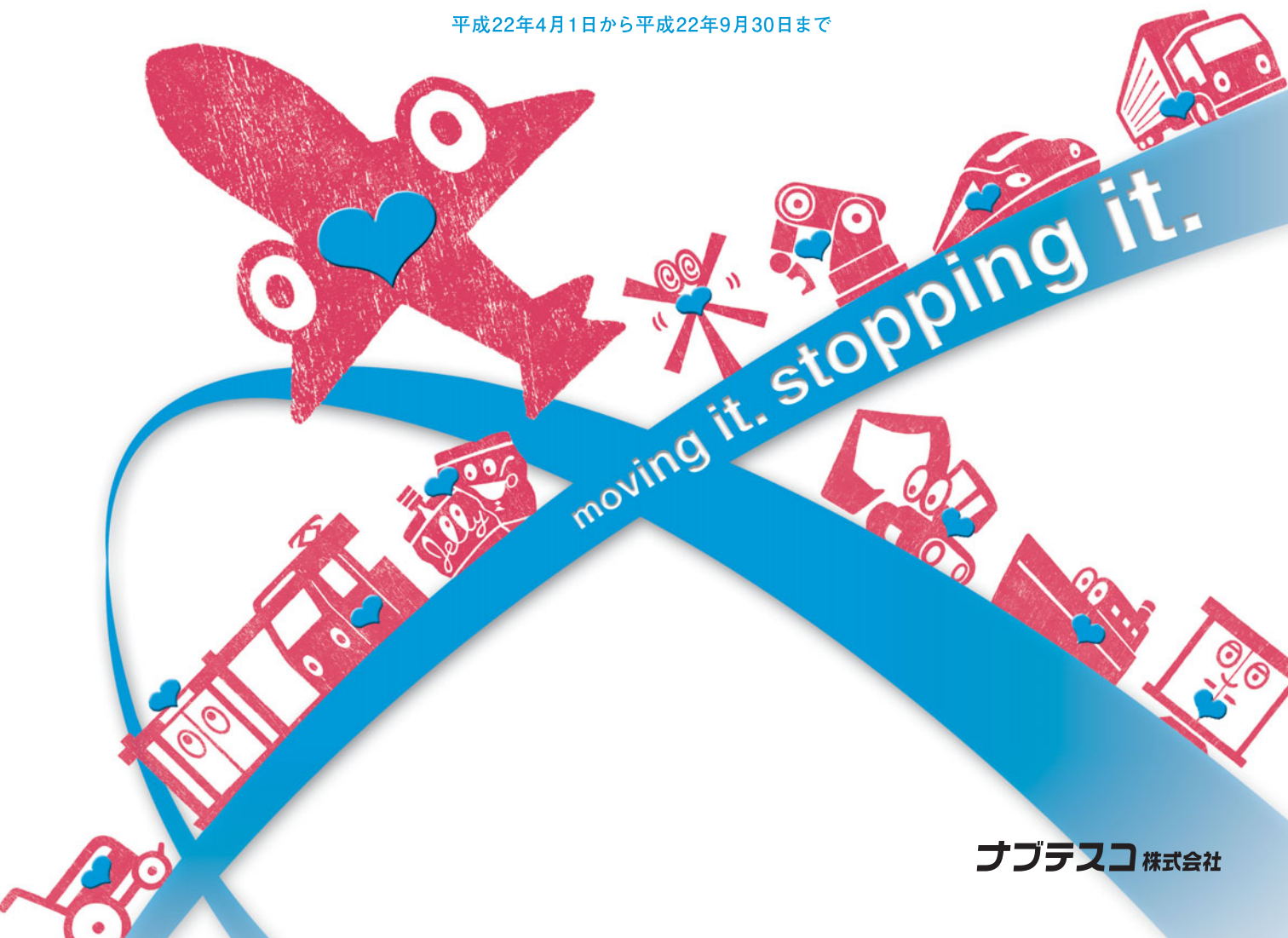


Nabtesco

第8期中間 株主通信

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ほぼすべての事業で需要が回復し、大幅に増収増益となりました。

中間期(第2四半期連結累計期間)における世界経済は、欧州諸国の財政問題の懸念や、米国の景気回復の鈍化などがありましたが、新興国を中心に自動車産業などの活発な設備投資およびインフラ投資の拡大により、景気は回復に向かいました。

このような状況のもと、当社グループの中間期の業績は、セグメント毎の収益と結果にばらつきはあるものの、主に国内外の産業用ロボットの急激な需要回復、およびインフラ拡大に伴う建機需要の増加などにより、増収となりました。

営業利益、経常利益、四半期純利益につきましても、原価低減活動、経費節減活動などが奏功し、前年同期に比べて大幅に伸長しました。

新興国の成長性を取り込み、事業強化を目指します。

今年度に関しましては、円高や中国でのビジネスリスクの顕在化など不透明感が漂っており、楽観視はできませんが、新興国を中心に自動車産業などの活発な設備投資、またインフラ拡大により回復の継続が見込まれます。

当社の強みは、お客さまが抱えておられる「問題」を当社の高度な技術力で解決へと導くことにあります。期待以上の魅力ある提案や競合他社よりも素早い対応、品質の追求など、常にお客さま視点で行動することを徹底させ、お客さまのグローバル展開に対応できる最適な生産と調達体制の構築に取り組んでまいります。

今後も当社グループは、海外売上拡大と海外事業展開の強化および技術優位性の強化を図り、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。

企業理念

ナブテスコは、
独創的なモーションコントロール技術で、
移動・生活空間に
安全・安心・快適を提供します。

平成22年12月
代表取締役社長

松本和幸



◆売上高および営業利益について

当中間期の売上高は、前年同期比203億円(34.7%)増加し、790億円となり、営業利益は同69億円(280.9%)増加し、94億円となりました。売上高営業利益率は同7.8ポイント改善し、12.0%となりました。

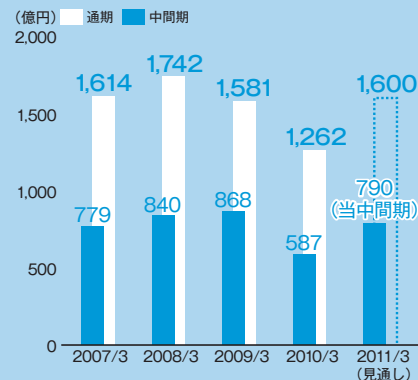
◆中間純利益について

当中間期の中間純利益は前年同期比53億円(866.1%)増加の59億円となりました。

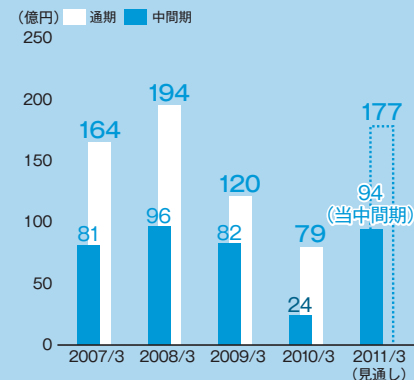
特別利益は前年同期比55百万円増加の91百万円、特別損失は前年同期比77百万円減少の3億円となりました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は100億円と前年同期比76億円の増益となりました。法人税等は前年同期比21億円増加の35億円となり、少数株主利益は前年同期比2億円増加の5億円となりました。

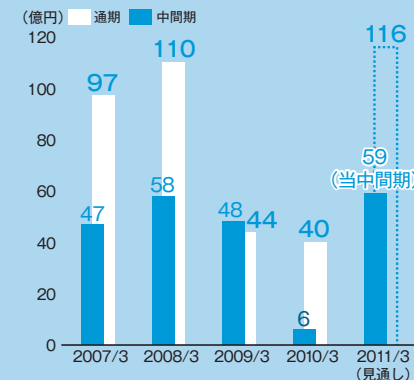
売上高



営業利益



中間(当期)純利益



※当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

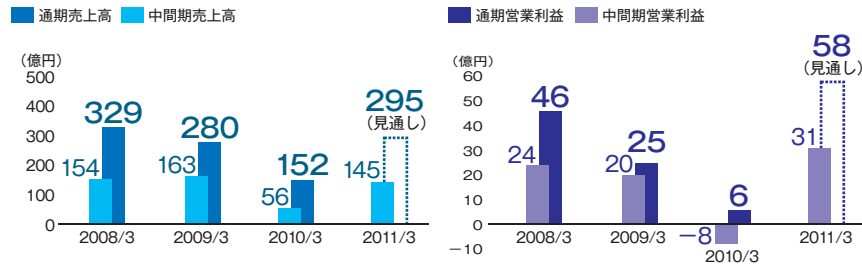
精密機器事業

精密機器事業の売上高は前年同期比158.0%増加の145億円、営業利益は前年同期8億円の赤字から大幅改善し、31億円となりました。

精密減速機は、自動車産業における新興国市場の拡大、環境対応車や小型車の伸長などにけん引され、国内外の産業用ロボット全般における需要が回復し、増収となりました。



半導体製造装置などに使われる「精密減速機」



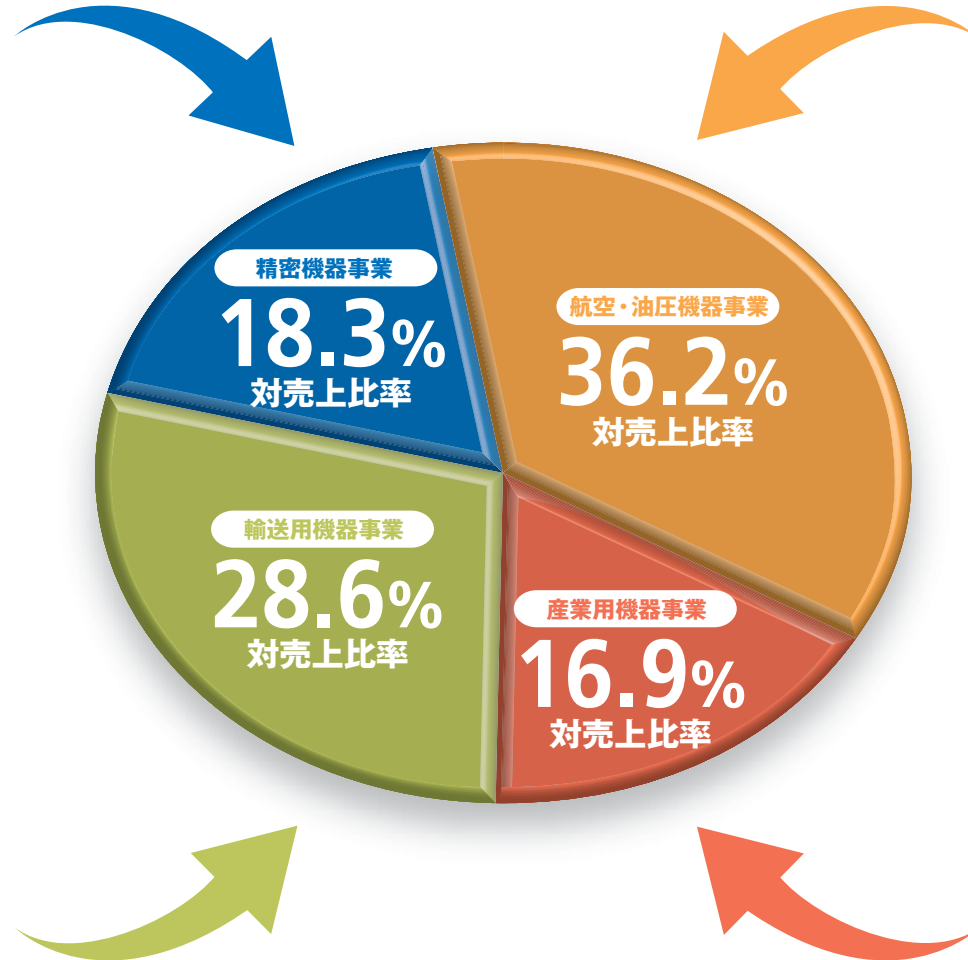
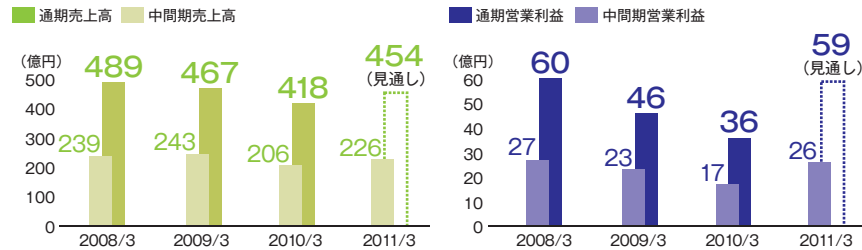
輸送用機器事業

輸送用機器事業の売上高は前年同期比9.5%増加の226億円、営業利益は同51.4%増加の26億円となりました。

鉄道車両用機器は、中国向けが堅調に推移し増収となりました。自動車用機器についてもトラックメーカーの国内および海外向けの増産により増収となりました。一方、船用機器は、新造船の受注に回復の兆しがあるものの、未だ本格的な回復には至らず減収となりました。



電車に使われる「ユニットブレーキ」



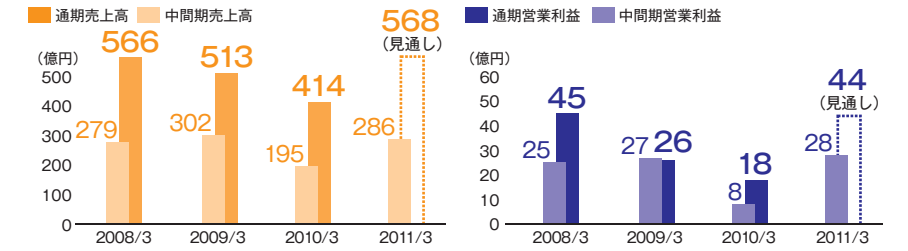
航空・油圧機器事業

航空・油圧機器事業の売上高は前年同期比46.0%増加の286億円、営業利益は同247.9%増加の28億円となりました。

油圧機器は、中国での建機需要が本格的に回復し、増収となりました。航空機器は、防衛需要向けが堅調に推移し、若干の増収となりました。



パワーショベルなどの「走行用油圧モーター」



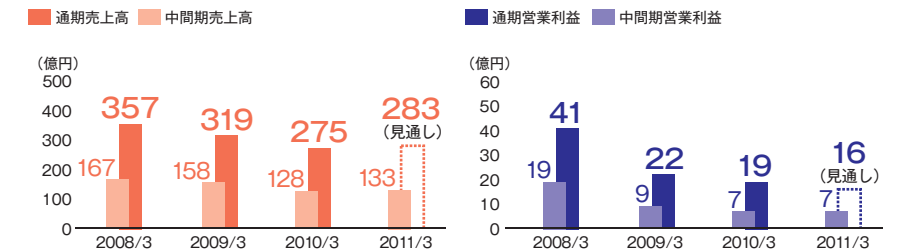
産業用機器事業

産業用機器事業の売上高は前年同期比3.9%増加の133億円、営業利益は同5.3%増加の7億円となりました。

自動ドア分野は、依然として国内建築需要が低迷しており売上はほぼ横ばい、包装機械は、国内外の需要が低迷したことにより減収、専用工作機は、中国・韓国における需要増により増収となりました。



レトルト食品などを包装する「給袋式自動充填包装機」



◆連結貸借対照表

(単位：百万円、未満切り捨て)

| | 当中間期 H22.9.30現在 | 前期 H22.3.31現在 | 前中間期 H21.9.30現在 |
|---------------|--------------------|------------------|--------------------|
| 【資産の部】 | | | |
| 流動資産 | 102,271 | 89,893 | 79,537 |
| 現金および預金 | 12,319 | 11,040 | 9,139 |
| 受取手形および売掛金 | 38,778 | 36,117 | 31,598 |
| 有価証券 | 32,000 | 24,499 | 18,999 |
| たな卸資産 | 16,420 | 15,266 | 16,092 |
| その他 | 2,754 | 2,968 | 3,706 |
| 固定資産 | 58,786 | 59,587 | 61,169 |
| 有形固定資産 | 43,070 | 44,102 | 45,985 |
| 建物および構築物 | 16,823 | 17,322 | 17,315 |
| 機械装置および運搬具 | 9,778 | 10,101 | 11,247 |
| 土地 | 14,352 | 14,393 | 14,411 |
| その他 | 2,116 | 2,284 | 3,010 |
| 無形固定資産 | 1,086 | 1,192 | 1,319 |
| 投資その他の資産 | 14,630 | 14,292 | 13,864 |
| 投資有価証券 | 12,762 | 12,302 | 11,687 |
| その他 | 1,867 | 1,990 | 2,176 |
| 資産合計 | 161,058 | 149,480 | 140,706 |

Point 1

Point 1

【資産】主な増加要因は、現金および預金の増加12億円、受取手形および売掛金の増加26億円、有価証券の増加75億円、たな卸資産の増加11億円などです。

Point 2

【純資産】主な増加要因は、四半期純利益59億円による利益剰余金の増加などです。一方、主な減少要因は、配当による利益剰余金の減少6億円などです。

Point 2

Point 3

【経常利益】主な増加要因は、営業利益が増加したことによるものですが、持分法適用関連会社の業績が改善されたこともあり営業外収益は前年同期比8億円増加の14億円、営業外費用は為替変動による影響により前年同期比3億円増加の5億円となりました。

(単位：百万円、未満切り捨て)

| | 当中間期 H22.9.30現在 | 前期 H22.3.31現在 | 前中間期 H21.9.30現在 |
|-----------------|--------------------|------------------|--------------------|
| 【負債の部】 | | | |
| 流動負債 | 50,974 | 43,610 | 37,253 |
| 支払手形および買掛金 | 29,234 | 24,447 | 18,146 |
| 短期借入金 | 9,057 | 8,920 | 8,595 |
| その他 | 12,682 | 10,243 | 10,511 |
| 固定負債 | 20,246 | 20,702 | 21,273 |
| 社債 | 11,000 | 11,000 | 11,000 |
| 退職給付引当金 | 7,860 | 8,000 | 8,803 |
| その他 | 1,386 | 1,701 | 1,469 |
| (負債合計) | 71,221 | 64,313 | 58,526 |
| 【純資産の部】 | | | |
| 株主資本 | 84,749 | 79,434 | 76,600 |
| 資本金 | 10,000 | 10,000 | 10,000 |
| 資本剰余金 | 17,448 | 17,467 | 17,471 |
| 利益剰余金 | 57,934 | 52,662 | 49,765 |
| 自己株式 | △632 | △695 | △636 |
| 評価・換算差額等 | △845 | △30 | 89 |
| その他有価証券評価差額金 | 989 | 1,290 | 1,095 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △1 | 10 |
| 為替換算調整勘定 | △1,834 | △1,319 | △1,016 |
| 新株予約権 | 110 | 73 | 18 |
| 少数株主持分 | 5,821 | 5,689 | 5,471 |
| (純資産合計) | 89,836 | 85,167 | 82,180 |
| 負債純資産合計 | 161,058 | 149,480 | 140,706 |

◆連結損益計算書

(単位：百万円、未満切り捨て)

| | 当中間期 H22.4.1~ H22.9.30 | 前期 H21.4.1~ H22.3.31 | 前中間期 H21.4.1~ H21.9.30 |
|--------------------|------------------------------|----------------------------|------------------------------|
| 売上高 | 79,096 | 126,249 | 58,724 |
| 売上原価 | 59,320 | 97,817 | 46,008 |
| 売上総利益 | 19,775 | 28,432 | 12,716 |
| 販売費および一般管理費 | 10,317 | 20,467 | 10,233 |
| 営業利益 | 9,457 | 7,964 | 2,482 |
| 営業外収益 | 1,433 | 1,623 | 538 |
| 営業外費用 | 569 | 250 | 205 |
| 経常利益 | 10,320 | 9,337 | 2,816 |
| 特別利益 | 91 | 298 | 35 |
| 特別損失 | 388 | 1,625 | 466 |
| 税金等調整前当期純利益 | 10,023 | 8,011 | 2,385 |
| 法人税等 | 3,521 | 3,271 | 1,386 |
| 少数株主利益 | 587 | 722 | 386 |
| 当期純利益 | 5,914 | 4,017 | 612 |

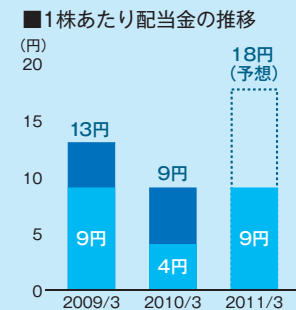
Point 3

配当のお知らせ

【利益還元方針および配当金】

当中間配当は、1株あたり9円といたします。

当社は、当社グループ全体の業績をベースに、戦略的な成長投資、財務健全性の確保、株主還元バランスおよび安定配当を考慮した企業収益の適正な配分を図ってまいります。



◆連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、未満切り捨て)

| | 当中間期 H22.4.1~ H22.9.30 | 前期 H21.4.1~ H22.3.31 | 前中間期 H21.4.1~ H21.9.30 |
|----------------------------------|------------------------------|----------------------------|------------------------------|
| I 営業活動による キャッシュ・フロー | 11,260 | 14,892 | 5,865 |
| II 投資活動による キャッシュ・フロー | △1,332 | △6,155 | △4,916 |
| III 財務活動による キャッシュ・フロー | △777 | △684 | △415 |
| IV 現金および現金同等物に 係る換算差額 | △357 | 74 | 159 |
| V 現金および現金同等物の 増減額 | 8,794 | 8,126 | 692 |
| VI 現金および現金同等物の 期首残高 | 35,425 | 27,299 | 27,299 |
| VII 現金および現金同等物の 期末残高 | 44,219 | 35,425 | 27,991 |

配当金振込制度のご利用について

株主さまご所有の株式に対する配当金(中間配当金を含む)をご指定の預貯金口座へ直接ご入金する制度がございます。この制度で、一度配当金の振り込み先をご指定いただきますと、今後の配当金はご指定の口座へ自動的に振り込みいたします。また株主さまが保有しているすべての銘柄の配当金をあらかじめ登録した一つの預金口座でお受け取りいただく方法や、証券会社の口座でお受け取りいただく方法もございます。配当金振込制度をご利用される場合は、株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がなく、特別口座が開設されました株主さまは、特別口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社0120-78-2031(フリーダイヤル)にお申し出ください。

高い信頼性を実現する開発能力で、空路の安全に貢献しています。



【航空・油圧機器事業】

航空宇宙カンパニー「フライト・コントロール・アクチュエーション・システム」

航空宇宙カンパニーの代表的な製品が、航空機の操縦を行うフライト・コントロール・アクチュエーション・システム(以下FCAS)です。世界初、電気信号で航空機全体を制御するシステムの開発により、当社は「世界4強の1社」と言われ、近年の国内シェアは100%を占めるなど高い評価をいただいています。

高評価の理由は、当社が持つ「厳しい安全性要求を満たす

システム開発能力」。多くの人々を運ぶ旅客機は飛行中の製品事故が大惨事につながるため、厳しい安全性が要求されます。旅客機の安全を確保するため、FCASは故障による影響を低減するための機能を多数搭載。安全性の高いシステムを開発することで、当社は皆さまの安全な空の旅に貢献しています。

空路の安全を約束する技術

1 高い信頼性を保障するシステム開発

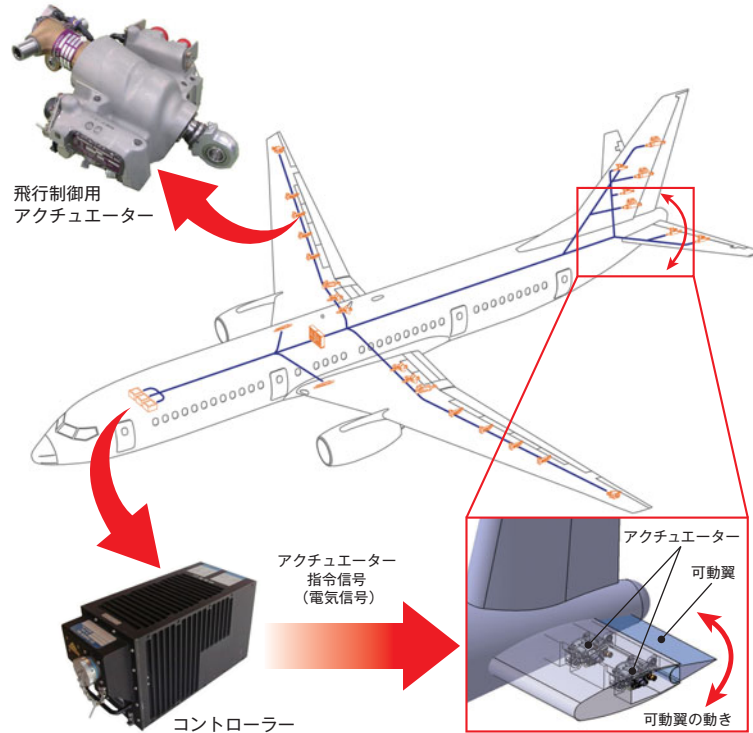
複数のアクチュエーターを使用した「多重化システム」では、万一、アクチュエーターの1台が故障しても他のアクチュエーターがバックアップして、航空機の安全な飛行を維持します。

2 ハードとソフト両面における最新の制御機能

多重化システム実現のため、各アクチュエーターやコントローラーには、故障を発見し、自動で切り離す機能が搭載されています。開発中の最新機体MRJ(三菱リージョナルジェット)に採用されています。

3 システム最適設計

フライ・バイ・ワイヤーと呼ばれる、電気信号を使用した最新のFCAS。1つの可動翼を動かす複数のアクチュエーターの位置制御を最適にすることで構造荷重を軽減し、航空機全体の重量軽減に貢献しています。



単元株式数の変更について

平成22年10月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

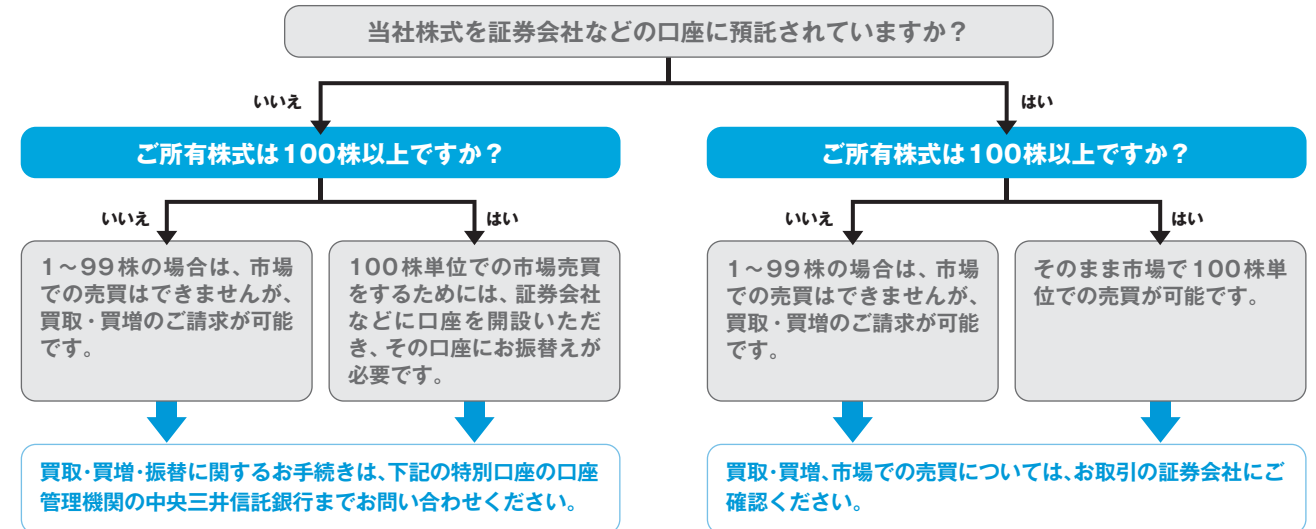
1,000株

100株

当社は個人投資家をはじめとする幅広い投資家層に投資していただくため、投資単位の引下げを行いました。

全ての株主さまには未永く当社株式をお持ちいただきたく存じますが、売却などをされる場合には、次の点にご留意ください。

- 平成22年10月1日をもって、東京証券取引所における売買単位を1,000株から100株に変更いたしました。
- 「特別口座」で管理させていただいている株式は、そのままでは売却ができません。売却される場合には、証券会社などに「一般口座」を開設していただき、「特別口座」から「一般口座」に株式を振替えていただく必要があります。お振替えをご希望の株主さまは、下記の特別口座の口座管理機関までお問い合わせください。
- 100株未満の株式をご所有の株主さまは、従来どおり買取請求のお申し出が可能です。
- 既に証券会社などの一般口座に当社株式が記録されている株主さまにつきましては、手続きは不要です。



株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
中央三井信託銀行株式会社 連絡先

フリーダイヤル 0120-78-2031

会社概要

会社名：ナブテスコ株式会社
 設立：2003年9月29日
 所在地：東京都港区海岸一丁目9番18号
 資本金：100億円

従業員数：単体 1,994人
 連結 4,028人
 連結子会社：国内14社(他持分法適用会社6社)
 海外17社(他持分法適用会社2社)

役員構成

取締役会

代表取締役社長 松本和幸
 代表取締役専務取締役 佐和博
 専務取締役 井上陽一
 常務取締役 坪内繁樹
 取締役 三代洋右
 取締役 今村雄二郎
 取締役 青井博之
 取締役 坂本勉
 取締役 小谷和朗
 社外取締役 楢木一秀(非常勤)

監査役会

監査役 野上達夫
 監査役 中村秀一
 社外監査役 石丸哲也(非常勤)
 社外監査役 山田正彦(非常勤)
 社外監査役 三谷紘(非常勤)

業務執行体制

最高経営責任者 松本和幸
 専務執行役員 佐和博 (パワーコントロールカンパニー社長)
 専務執行役員 井上陽一 (技術本部長)
 常務執行役員 坪内繁樹 (総務・人事本部長)
 執行役員 片多博 (企画本部副本部長兼営業企画部長)
 執行役員 今村正夫 (船用カンパニー社長)
 執行役員 三代洋右 (住環境カンパニー社長)
 執行役員 今村雄二郎 (技術本部副本部長)
 執行役員 坂元一則 (ナブテスコサービス(株)代表取締役社長)
 執行役員 瀬川卓真 (ナブテスコオートモーティブ(株)代表取締役社長)

執行役員 青井博之 (コンプライアンス本部長)
 執行役員 古田博美 (ナブテスコオートモーティブ(株)取締役副社長)
 執行役員 横山雄二 (ナブコデア(株)代表取締役社長)
 執行役員 橋本正孝 (技術本部開発企画部長)
 執行役員 坂本勉 (鉄道カンパニー社長)
 執行役員 上岡忠志 (パワーコントロールカンパニー生産統括部長)
 執行役員 小谷和朗 (企画本部長)
 執行役員 長田信隆 (航空宇宙カンパニー社長)
 執行役員 國井重人 (パワーコントロールカンパニー副社長兼風車機器プロジェクト部長)

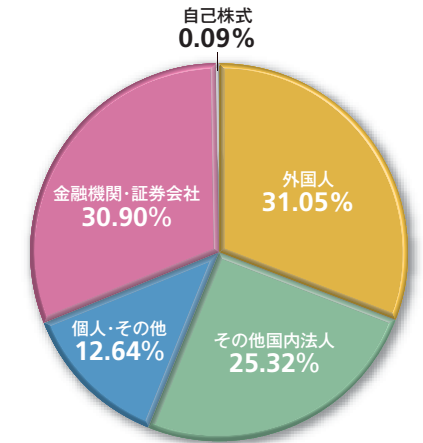
株式関連情報

【株式の状況】
 発行済株式の総数 127,212,607株 株主数 7,906名

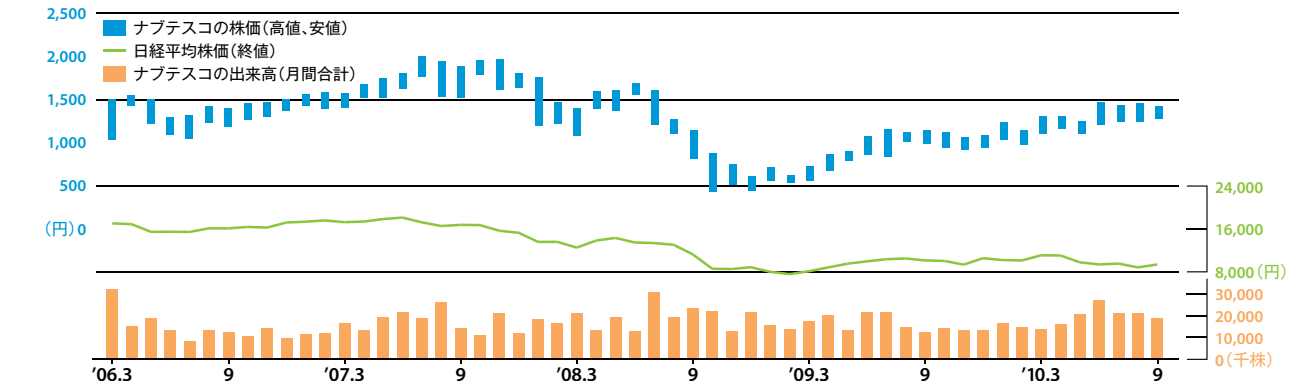
【大株主】(上位10名)

| 株主名 | 持株数 (千株) | 議決権 比率 |
|-----------------------------------------------------|-------------|-----------|
| 1 株式会社神戸製鋼所 | 15,100 | 11.99% |
| 2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 11,110 | 8.82% |
| 3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 9,198 | 7.30% |
| 4 TAIYO FUND, L. P. | 6,304 | 5.01% |
| 5 東海旅客鉄道株式会社 | 5,171 | 4.11% |
| 6 帝人株式会社 | 4,469 | 3.55% |
| 7 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・株式会社神戸製鋼所口) | 4,011 | 3.19% |
| 8 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ | 3,265 | 2.59% |
| 9 ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー | 2,973 | 2.36% |
| 10 ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント | 2,922 | 2.32% |

【所有者別株式数比率】



【株価・出来高(東京証券取引所)】



| | |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月下旬 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 電話照会先 | 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。 |

■住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社などにて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、本年より配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主さまは大切に保管ください。